









# 一緒に活動しませんか？

愛する三原の未来をつくるため、あなたの力を貸してください

## ■三原青年会議所(JC)とは

青年会議所(JC)とは「明るい豊かな社会」の実現を同じ理想とし次代の担い手たる責任感を持った20歳から40歳までの指導者たらんとする青年の団体です。青年は人種、国籍、性別、職業、宗教の別なく自由な個人の意思によりその居住する各都市の青年会議所に加入できます。そして一般社団法人 三原青年会議所は1962年7月に三原市内の青年有志によって発足し同年9月に社団法人 日本青年会議所により日本で220番目の青年会議所として認められました。

## ■様々な活動を通じて楽しんでいます！

◆まちづくり事業 自ら先頭に立ち自分たちが住む地域の活性化に若いエネルギーを燃やしています。



◆ひとづくり事業・教育 未来を担う子供たちの健全育成のために各地では様々な青少年事業を展開しています。



◆会員交流 異業種で20～40歳までのメンバーが集まり仲間同士の友情・絆を深めるため交流しています。



◆会員研修 各種セミナーやさまざまな研修を通して経営者としてのノウハウや指導力を身につけることができます。



## ◆JCの特徴って？

青年会議所はまちづくり活動を通して人としての価値観を変えてくれる団体です。もちろん、自ら行動することでは得られない経験ばかりです。入会すれば自動的に与えられるものではありません。ですが、入会時よりまちづくりを通じて会員同志や他団体との交流、また会員による様々なまちづくり運動を通じて自己の成長へとつなげると同時に他人に必要とされる人間力を磨いてゆけます。その機会が多く存在します。その機会を活かすのはあなた自身次第です。

## ◆入会動機は？

現在は35名のメンバーが加入しております。多様な入会動機で仲間になりました！

しかし、動機は入会のきっかけの一つに過ぎず、多くの仲間と自分自身と向き合うための大切な時間を共有する、いわば入り口なのです。

- A: 開業したこともあり三原の方と横のつながりを得たい
- 会社の成長を目指している
- B: やっさ祭りに関わりたい
- C: いろいろと経験したり自身の成長へとつなげたい
- D: 社会人になっても大好きな野球がしたい、野球ができる環境が欲しい

## ◆視野が広がる！

入会当初は自分の為、会社の為にと活動していた方も活動を続けているうちに、三原を元気にしてゆくにはどのような方法があるのかと日々考え行動することで新しい価値観に出会えるようになります。

## ◆なぜ、まちを考える？

一見、入会の動機とは異なる気もするかもしれませんが、まちをつくるのは人です。まちの成長は人の成長です。すなわち、あなたの成長がまちの成長につながるのです。入ってみないとわかりません！

## 【自分づくりから始めるまちづくりへ】

三原が元気になるために！  
私たちと一緒に自分づくり・まちづくりに挑戦しませんか？  
入会資格 年齢20歳～35歳（原則として）性別不問  
三原市及び近隣町村に在住、または勤務されている方



仕事×家庭×友情＝



**やっさもっさ 伝言板**

3月号予告  
緊急医療体制 第二弾  
先進地事例を探る！

**やっさもっさチャンネル**

3月のやっさもっさ事例掲載内容は三原JCにて発行の冊子(1)で確認できます							
7:00	7:24	7:25	7:26	7:27	7:28	7:31	7:32
9:15							
11:35							
12:00							
14:15							
18:15							
19:00							
20:00							
21:15							

お問い合わせ先  
一般社団法人 三原青年会議所

〒723-0052 三原市錦東4-8-1 三原商工会議所内  
TEL: (0848) 63-3515 / FAX: 62-1141

Eメール info@nihara-jc.com

発行 一般社団法人三原青年会議所  
編集 広報委員会

# 子育て世代必見！ 緊急医療の現状！

連載第一弾

3面 やっさもっさが  
花火会場はどこに...?

4面 三原青年会議所とは！

◆近年、三原市でイベントなどの事業を実施する団体などが増えている。自分の住むまちを何とかして盛り上げたいという思いがひしひしと伝わってくる。その中で、各地域や団体で実施されている行事やイベントなどももっと連携することができれば、このまちの魅力をより高めてゆくと感じている人は多いのではないだろうか？

◆それを実現する事業において、交じり合う部分を見つけて連携することで実施する事業内容の幅は広がる。それにより多くの方が関われることできる機会が作られ、まちへの関心度は高まるのではないだろうか？

◆また、各地域にある既存資源に目を向けることもなり、このまちの良さを再発見することや、広域文化の継承にもつながるのではないだろうか？

◆その絶好の機会として、二〇一七年に予定されている三原城築城四〇周年祭がある。築城した小早川隆景公は市全域にゆかりがあることとで各地域が連携、協力しやすいう環境を作り出せるのではないだろうか？

◆今後さまざまな計画が練られると思うが、一つも多くの事業が横のつながりを持つことで最大限の効果を発揮し、全国へ三原を発信できるような多くの方とともに取り組んでゆきたい。

一般社団法人 三原青年会議所 公式サイト <http://www.nihara-jc.com/> 公式facebook <http://www.facebook.com/niharajc>

本誌「やっさもっさ」は、1月から11月まで毎月1日に発行し、2月からは最終号月曜日、新聞折り込みを中心に配布しております。訂正ご愛読ください。各取組活動のための再生紙を使用しています。







# 二花火会場予定地決定!開催への動向を聞く

## 花火会場予定地決定!

2月号に掲載したやっさ花火会場変更について予定地が決定したようです。今月号では現在の会場予定地に至るまでの経緯と今後の動きについて第39回三原やっさ祭り 三原実行委員長にお話を伺いました。

**広報委員** 早速ですが、会場予定地を教えてください。

**実行委員長** 沼田川浄化センター付近から400m沖の海上に台船を浮かべて、打ち上げる方向で予定地として決定しました。今後は花火大会開催の方向に向けて動いていきます。

**広報委員** 花火大会開催決定はいつ頃の予定ですか?

**実行委員長** 6月中には開催できるかを決定したいと思っております。

**広報委員** 候補地決定に関しての経緯と会場決定にあたって重要視された事について教えてください。

**実行委員長** 複数の会場を検討した結果、その場所が最良だと考えた結果です。一番重要と考えたのは安全の確保です。来場者はもちろんのこと会場付近に暮らす市民の安全を最優先させて頂きました。毎年多くの方にお越し頂いております。その皆様が安全で楽しく見ることで観覧スペースの確保が必要です。また花火を打ち上げるには保安距離があります。半径ですと地上では半径300メートル以内は立ち入り禁止となりますので、会場周辺に民家や企業が無い場所を考慮しました。

**広報委員** それらを解決できる場所が今回の沼田川河口だったんですね。その他に選んだ理由があれば教えてください。

**実行委員長** 現在の候補地なら天から降り注ぐような尺玉が打ち上げられます。その花火を見

る時も会場スペースが広いので、多くの人が花火の周辺に行き楽しむことが出来ます。また、会場付近だけでなく、三原市内の多くの場所から花火を楽しんで頂けます。今まで以上に多くの場所からやっさの花火を楽しんで頂けて、やっさ祭りを更に盛り上げてゆけると確信して選びました。

**広報委員** 他の選考場所について教えてください。

**実行委員長** 当初より駅前や駅裏、また松浜の埋め立て地区付近も視野に入れ検討しておりました。駅前では森林火災の危険性や、花火の大きさにもよりますが場合は近隣住民の避難も必要になります。また三原港付近の打ち上げでは近隣企業や船舶運航にも支障が出てしまいます。港付近で多くの来場者を受け入れられるのか不透明なところもあります。松浜の埋め立て地区では来場者の交通手段や駐車場の確保が難しい現状がありますし、来場者のスペース確保も不透明なところがありました。

**広報委員** そう考えると簡単に決められませんか。

**実行委員長** 来場者だけでなく会場付近の近隣住民や企業の安全そして来場者の受け入れが出来るスペースの確保と、やっさ花火代表する大きな花火を打ち上げられる場所を考慮しながら、より多くの人に楽しんでもらえる場所を考えて決めました。

一尺玉だけでなく二尺玉も考慮しております。そして、より多くの人に楽しんでもらえるよう打ち上げられることも視野に入れ、幅広い場所から見上げる工夫をしたいと考えています。また観覧スペースも広いので来場者の皆様に楽しんで頂けるような企画を考えております。空では花火、下では企画といった来場される皆様に飽きさせない臨場感に楽しいやっさ花火にしたいと考えております。

## 花火大会を開催するために

**広報委員** 花火大会実施の決定にはまだ時間がかかるようですが、理由を教えてください。

**実行委員長** 現在の候補地では海上に台船を浮かべるため昨年より費用がかかります。昨年はやっさ祭りの総予算約2955万から約360万を花火大会に計上していますが、100万から150万程度増える見込みですので、実行委員会としても予算獲得に向けて取り組みをしています。しかし、花火だけではやっさ祭り全体でも予算は減少傾向となっているため、実行委員会としても祭りの縮小を感じさせないように取り組んできましたが、年々限界を感じており、実施に向けては各種団体や周辺企業の協力が必要不可欠です。

**広報委員** 予算に関して実行委員会の取り組みを教えてください。

**実行委員長** 近年では駐車場の有料化、募金箱の実施、飲料水の販売等です。本年度は花火実施にも計上させて頂いておりましたやっさ八ガ千での協賛金より効率的に使用する物への変更も考慮しています。また募金箱の設置件数も増やす方向です。市民の皆様と三原の一体感を求めるように祭りをより多くの人に楽しんで頂くよう取り組んで参りますので、今後とも協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

三原実行委員長が会場変更をきっかけとして、やっさ花火を楽しんで頂きたい、祭りを通じて三原を盛り上げたいとの想いが伝わってきました。それはこの祭りが市民参加型の「市民による市民のための祭り」だからではないでしょうか。皆さんはやっさ花火・祭りなどのようにしてゆきたいです。今までの祭りが今後の祭りを支えてゆくのではないでしょう。

## 名張市民病院



医療圏の狭間  
人口10万人  
なぜ復活できたのか!

やっさ花火会場予定地決まる!

# めざせ開催!

# 小児二次救急24時間確保

連載第二弾



花火会場予定地 → ★

◆ 二ヶ月号裏表紙についてお詫び

◆ 小児二次救急電話の事例

◆ 2月号の誤植についてお詫び

◆ やっさ祭りの実行委員皆様へようこそ

## 2月号の誤植についてお詫び

◆ 2月号の誤植についてお詫び

◆ やっさ祭りの実行委員皆様へようこそ

## 2月例会報告

### VISIONを再考～さあ!いこう

2月19日(水)三原国際ホテルにてまちの未来創造委員会・大迫巨委員長による2月例会を開催いたしました。今例会では、会員全員にビジョン(三原青年会議所の目指す方向性)を意図していただくことを目的に、第1部では現在までのビジョンの時代背景・目的をプレゼンテーションしました。第2部では現在のビジョン「三原の理想創力」について、事前アンケートの結果に基づきこれからは必要と思う項目を議論し、これからのまちの将来像についてテーブルごとにディスカッション及び発表を行いました。ここで現在考えられる課題を会員全員で共有し、最後にこれらから策定する新ビジョンの案を発表しました。

VISION(ビジョン)…将来のあるべき姿を描いたもの。将来の見通し。構想。未来図。未来像。

## やっさもっさ

◆ 4月号予告  
緊急医療体制 第三弾  
わたしたちに  
できること!

### やっさもっさチャンネル

今月号のやっさもっさチャンネルの内容は三原川中心で下記の日程(日)で放送予定です							
7:00	8:31	9:41	10:42	11:43	12:44	13:45	14:46
9:15							
11:15							
12:00							
14:15							
16:15							
19:00							
20:00							
21:15							

## お問い合わせ先

### 一般社団法人 三原青年会議所

〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内  
TEL: (0848) 63-3515 / FAX: 62-1141

Eメール info@mihara-jc.com

●発行 一般社団法人 三原青年会議所  
●編集 広報委員会

●読者の方は、こちらからお問い合わせ下さい。















第39回三原やっさ祭り  
2尺玉花火打上げプロジェクト

募金のお願い

あなたの気持ちの **花** が  
夜空に開く大輪の花となり  
無数の笑顔の花となる!

2尺玉花火  
直径480m(例年の倍)



中西国地方で  
最大!!  
2014年  
8月10日(日)

募金に関する情報は  
こちらから!



今年のやっさ花火は  
海上から打上げ!

三原らしい降り注ぐような花火。でもお金が足りないんです...楽しみに待つあなたとあなたのために力をお貸してください!

鷲野山  
(311m)

やっさ祭りの最終日を飾る三原らしい「降り注ぐような」花火大会は、市民をはじめ多くの方々の楽しみとして定着してきました。しかしながら第39回三原やっさ祭り実行委員会は開催場所の変更を余儀なくされ、楽しみに待つ市民のために、「三原らしさ」を維持しながら、開催に向けて歩を進めるにあたり資金難に悩まされているのが現状です。そこで、開催主眼「市民総参加の心触れ合いの場づくり」の「総参加」の一つの形を築きあげようとするを目的として、募金活動を実施します! 募金の目標金額は、前回花火大会予算350万円に対し今回は540万円となっておりますので、差額の190万円とさせていただきます。取り組むことになりました。皆様のご厚意を少しずつ集め、心に輝く花火フェスティバルにしたいと考えておりますので、ご協力よろしくお願い致します。詳細はホームページ、三原青年会議所Facebookにて随時配信しています!

やっさ祭り実行委員会の取り組み

第39回 三原やっさ祭り  
花火フェスティバル編

今年度の三原やっさ祭りの最終日(8月10日)20:00~20:45は花火フェスティバルを開催します。

■花火打上げ場所  
糸崎港沖の海上で台船を使用

■観覧場

糸崎駅から徒歩10分の糸崎埠頭の糸崎会場(その他会場については決定次第発表します)

打ち上げる花火の内容は、1尺玉7発、2尺玉1発を含む5235発の花火を打ち上げます。この2尺玉花火は広島県内では他にない最も大きい花火となり、西日本でも最大級の花火となります。2尺玉花火は東区ドーム4個分の大さで夜空に咲き見れます。

祭りのフィナーレを飾る花火フェスティバルは天から降り注ぐような大きな花火が有名となり、三原

市外からの来場者も多数来られました。そして今年度は打ち上げ会場の変更により可能となった、これまでより大きな花火直径480mの2尺玉花火が打ち上げられます。多くの方々にこれまで見たことがないくらい大きな花火を鑑賞していただき、ふるさと三原への愛着をより強くしていただきたいと願って準備しております。観覧場は安全面を重視し、来場者から離れた安全な場所で行っておりますので、やっさ祭りの最終日の8月10日(日)は花火観覧場で大迫力の花火をご覧ください。

第39回三原やっさ祭り  
2尺玉花火打上げプロジェクト

■募金振込口座のご案内

しまなみ信用金庫 皆実支店  
(普通)0058269  
三原青年会議所 花火募金  
代表 倉橋英治

※振込手数料はご負担いただきますようお願い致します。  
募金目標額に到達次第終了とさせていただきます。

やっさもっさチャンネル

今月のやっさもっさチャンネルの三原やっさ祭り(日)で募金受付
7:00
9:15
11:15
12:00
14:15
18:15
19:00
20:00
21:15

お問い合わせ先

一般社団法人 三原青年会議所  
〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内  
TEL: (0848) 63-3515 / FAX: 62-1141

Eメール info@mihara-jc.com

■発行 一般社団法人 三原青年会議所  
■編集 広報委員会



2400作品の中から  
第39回三原やっさ祭りキャンペーンテーマ決定!



キャンペーンテーマ  
作者に聞く!



如水館中 石橋 希和さん

青春は我が心の魂

この度、第39回三原やっさ祭りのキャンペーンテーマとして如水館中学2年生の石橋希和さんの作品が選ばれました。石橋さんに今の気持ちを伺ってきました。

広 報 2400作品の中からキャンペーンテーマに選ばれてどのようなお気持ちですか?

石橋さん とても嬉しいです。両親や友達、先生からも「おめでとう」と言われました。今年の祭りがさらに楽しみにになりました。

広 報 どのような思いで作られたのですか?

石橋さん やっさ祭りに参加されたり見に来られる皆さん全員分の盛り上がりが高くなるようにと思い、そして皆さんで協力して大好きな祭りがさらに楽しくなりたて欲しいという願いを込めて考えました。

広 報 ありがとうございます。

如水館中学校では国語の授業の一環で学年全員に対して「やっさ祭りのキャンペーンテーマを考える」という時間を設けました。先生にお話を伺うと、本校の生徒の作品が選ばれたことで全校生徒が誇りに思うだろうし、伝統芸能や郷土の祭りに関心が高まる良いきっかけになったとのことでした。

今後このような取り組みを継続できれば子どもたちのやっさ祭りへの思いや、三原への愛着心を育てて行ってもらえると感じました。

2014年三原ミスやっさ決定!



三原 実優さん 石橋 由希さん

5月17日(土)三原商工会議所にて三原ミスやっさオーディションが開催されました。慎重な審査により2名のミスやっさが誕生しました。お二人はやっさ祭りを盛り上げることはもちろんのこと、多くの三原のPR活動に参加されることとなります。笑顔の高なお二人を通じて、三原に興味を持っていただける方が増えることでしょうか。おめでとうございます!

なぜミスやっさに応募されたのですか?

石橋さん 三原に生まれ育ち大好きな三原の為に恩返しが出来ればと思い応募しました。

石橋さん 三原市で働き始めて4年になりますが、職場の上司に勧められて応募しました。

選ばれた現在の思いとミスやっさにかける思いを教えてください。

石橋さん 選ばれてとても嬉しいです。まだまだ知らないこともあるので三原のことをもっと勉強して県内以外にも多くの方にPR出来るように頑張りたいと考えています。

石橋さん とても緊張していましたが、今はホッとしています。ミスやっさとしての自覚を持って取り組み今まで以上に盛り上げる祭りしていければと思っています。

お二人にとってやっさ祭りとはどのようなものなのでしょうか?

石橋さん 夏に欠かすことが出来ないイベントです。

石橋さん 見て楽しい参加して楽しい大好きな祭りです。

JCI 一般社団法人 三原青年会議所新聞  
やっさもっさ  
第424号  
発行 一般社団法人 三原青年会議所  
編集 広報委員会  
印刷 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内  
TEL: (0848) 63-3515  
FAX: (0848) 62-1141

読者力  
やっさもっさ  
やっさもっさ実行委員会の取り組み  
募金振込口座のご案内

またかいたか  
◆ゴール。仕事や家庭など、さまざまな場面でゴールを考えると、決めることややるべきことが具体的に見え、予定を達成することが出来るため行動する事が非常に重要な要素です。◆四手本安打の偉業を達成したイチロー選手は目標に行き着くには「今この瞬間に行き着く」と思い、「初心を忘れないこと」「大事にしかしなれない自分」「決して負けない。成長した自分」がそこにいて、その気持ちでプラスしていく。イチロー選手のも、その過程でしか分かり得ないものがあるのだと感じる。◆活力を失う人々の視線は下方に傾きがちである。そこを見上げる景色はあまりに寂しい。しかし、見上げるの間に思いは、自分が抱きかかっている狭い世界なかもしれない。自分の心情や視野は、あたかも外を見ているように、実は映し出しているうちに過ぎる。思いの中で、過ぎし季節の思い出を、時に懐かしみ、時に励まされる。我々も目の前の景色に振り回れることなく、胸を張って見上げる。それと違ふ。ゴールへと続く景色は、他はなぬ自分がつくったものだから。

本誌「やっさもっさ」は、1月から11月まで毎月1回に発行し、2月からは最終版月曜日、新聞折り込みを中心に配布しております。好評ご愛読ください。※資料提供のため再生紙を使用しています。  
一般社団法人 三原青年会議所 公式サイト <http://www.mihara-jc.com/> 公式facebook <http://www.facebook.com/miharajc>











































